

第7回きょうと明日へのチャレンジコンテスト 実施要項（中学校）

1 趣 旨

地域や企業が抱える課題、各学校が設定する『正解のない問い』に対して探究的に学び、課題解決型の学習等の過程を通して、自らの学びが社会とつながることを実感させ、社会貢献の過程を体感させる中で、認知能力と非認知能力を一体的に育成する。

2 主 催

京都府教育委員会

3 中学校コンテスト部門の概要

(1) 対象

京都府内（京都市立を除く。）の公立中学校及び義務教育学校後期課程

※学年は問わないが、育成したい資質・能力等、教育課程上の位置付けを明確にしておくこと。

(2) 日時

令和9年2月13日（土）午後1時～同4時 ＊第2週土曜日

(3) 方法・場所

京都府庁3号館または北部研修所でのブース発表

京 都 府 庁：京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

北部研修所：京都府綾部市川糸町堀ノ内39

＊会場については、今年度の参加状況、交通手段の確保状況によって変更することがある

(4) 部門構成

本年度の中学校コンテスト部門は、次の2部門とする。

ア A 部門（取組時間目安 20 時間以上）

対 象：すべての学校

募集内容：企業等と連携した課題解決型の学習を 20 時間（推奨 25 時間）以上実施し、

①企業等から提示された課題に対する提案、

②その検討を通して体感した自分たち自身の変化

をまとめ、発表する。

＊いわゆる PDCA サイクルを2回以上回すことを含む。

イ B 部門発表（取組時間目安 10 時間程度）〔新設〕

対 象：初めて参加する学校のみ

募集内容：企業等と連携した課題解決型の学習を 10 時間程度実施し、自分たちなりの提言

をまとめ、発表する。

※ B 部門は令和8年度から令和 10 年度までの3年間の設置とし、その後は A 部門に一本化する予定である。

(4-2) 連携企業のマッチング支援について（A 部門・B 部門共通）

課題解決型の学習に取り組むにあたり、現段階で連携企業等が決まっていない学校については、京都府教育委員会が協力企業とのマッチングを支援する。参加を希望する学校は、まず事前登録票を提出の上、連携先について早めに相談すること。

(5) 応募数

各学校2チーム以内（A 部門・B 部門のいずれか一方）

(6) 発表形式（A 部門・B 部門共通）

発表はブース発表とし、成果物の前で説明を行う。

(7) 成果物（A 部門・B 部門共通）

形式は次のいずれでもよい。

- ・ポスター（四六判1枚）
- ・パワーポイント等を印刷した紙芝居形式
- ・A3用紙複数枚を組み合わせた構成
- ・その他、ブース内で提示可能な形式

*発表者と成果物が同時に視認できるようにすること。

(8) 応募方法

コンテストへの参加を希望する学校は、事前登録票（様式1）を提出し、更に応募書類等を提出すること。いずれも期限厳守とする。

(9) 応募書類等の提出について

ア 一覧

	応募書類等	提出締め切り	提出先
ア	事前登録票（様式1）	令和8年9月30日（水）	各市町（組合） 教育委員会
イ	エントリー用紙（様式2）	令和8年12月15日（火）	各市町（組合） 教育委員会
ウ	成果物 3部		
エ	発表動画（提出方法はFAQを参照）		

*様式等はURL：<https://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?p=6980> からダウンロードすること。

イ 発表動画について

動画は、成果物の前で、学習内容について説明する様子を撮影したもので、7分程度（最大10分以内）とする。説明者と成果物の両方が映っていること。

(10) 応募上の注意

ア 応募作品は4名程度のチームで作成することとする。

イ エントリー用紙に学校が設定した「連携先」「問い」「問いの背景等」を明示すること。

ウ 効果検証のために事前登録した学校の応募対象学年の生徒にアンケート調査を行う。

(11) 審査及び表彰

- ア 審査項目は「別紙」を参照
- イ 審査委員会を設けて審査を行う。
- ウ 次のとおり審査・表彰する。

審査（令和9年2月13日（土））で決定

【A 部門】

審査で最優秀賞、優秀賞を各会場1チーム決定する。

また、提出された作品については、審査委員会によるコメントを応募校に返却する。

【B 部門】

順位づけによる表彰は行わない。

ただし、提出された作品については審査委員会において審査を行い、コメントを応募校に返却する。

(12) 審査会について

- ア 発表は各校1ブースで、発表時間は各チーム30分×2、持ち時間内であれば何回発表しても構わない。発表時間以外は、他校の発表を聞いて、質問する等学びの場とする。
- イ 提出動画及び最終審査の様子の記録については、研修等に使用することがある。なお、最終審査の様子は、参加者及び参観者が映る場合がある。

4 説明会、研修等（小・中学校共通）

(1) 説明動画の配信

昨年度の実施状況、実践事例、応募方法等について概要の説明動画を配信する。質問、相談等はFormsで随時受け付ける。

説明動画 URL <https://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?p=6980>

質問・相談フォーム <https://forms.office.com/r/HukfdtJEra>

(2) ミニ研修動画の配信

初めて探究活動に取り組む学校も含めて、指導の参考になる研修動画（1回 10～15分程度）を随時提供していく予定である。（<https://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?p=6980>）

（配信回数及び内容（予定））

- 第1回：探究とは何か
- 第2回：外部課題の意味
- 第3回：価値の定義を引き出す授業づくり
- 第4回：未来の構想を支える方法
- 第5回：探究のプロセスを支える教師の役割
- 第6回：成果のまとめ方と評価

(3) 参考事例

- 令和2年度～令和6年度「未来の担い手育成プログラム」研究校の報告書

URL : <https://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?p=182>